

次世代を育む学びの充実

第3期旭市の教育に関する大綱

令和2年4月に策定した「第2期旭市の教育に関する大綱」が令和6年度をもって終了し、新たに策定した「第3期旭市の教育に関する大綱」がスタートしました。今回は大綱の基本理念や基本目標などを紹介します。

第3期旭市の教育に関する大綱の概要

●期間

令和7～11年度

●基本理念

郷土 夢 未来

～郷土を愛し 夢に向かって歩み続け 未来を拓く人づくり～
人生100年時代の到来や、科学技術が急速に発展する複雑で予測困難な時代において、市民一人ひとりが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が豊かさを感じられる状況“ウェルビーイング”を持続させていくためには、夢を抱き、新たな価値創造で課題を解決する力が求められています。

その実現には、学校教育ならびに社会教育、生涯学習において、市民や地域のニーズを踏まえた豊かな学びを進めるとともに、家庭や学校、地域が協働し、郷土愛を育み、

未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生していくことが重要となります。

第3期旭市の教育に関する大綱では「郷土 夢 未来」を基本理念に掲げ、5つの基本目標により教育の充実を図り、市民や社会全体のウェルビーイングの向上を目指します。

●基本目標

- (1) ふるさと旭を愛し、社会の持続的な発展を生み出す人を育てます
- (2) 夢に向かって自ら挑戦し続ける人を育てます
- (3) 自信をもって未来を切り拓く「生きる力」を育みます
- (4) 豊かな人生を支えるための学びを支援します
- (5) 学校をコミュニティの核とした地域づくりを進めます

※大綱の全文は、市ホームページで見ることができます。



総合教育会議の開催状況

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成する会議で、教育に関する大綱の策定に関するもののほか、教育のために必要な事項について協議・調整を行います。

令和6年度は、大綱の策定に関する会議を開き、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる教育の実現に向けて、協議を重ねました。

第1回会議／令和6年7月19日

第2回会議／令和6年11月14日

第3回会議／令和7年2月13日

広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第30回

2000年(平成12年)4月1日号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報あさひ平成12年4月1日号を紹介します。

表紙は、東総文化会館で開催された「第6回あさひ能」の一場面です。市主催の狂言教室を受講した小学生から大人までの11人が、1年近く練習を積み重ねた演技をプロの狂言師と同じ舞台上で披露しました。

そのほかでは、春恒例のイベントである袋公園桜まつりを報じています。この年の3月に「さくら橋」が完成したことを祝い、親子三世代夫婦による渡り初めや2,001匹のコイの放流などが行われました。



袋公園桜まつり



表紙(第6回あさひ能)